

京都産業大学

ざい ま けい こ  
在間 敬子

京都産業大学学長



黒坂光前学長の任期満了に伴い、在間敬子経営学部教授が2024年10月1日付で学長に就任。京都産業大学初の女性学長。

在間新学長は1961年東大阪市生まれ、1984年大阪大学理学部卒業後、東レ(株)等を経て、1996年に京都大学大学院経済学研究科修士課程、2001年9月に同大学院大学院経済学研究科修士後期課程を修了。京都大学博士(経済学)。東京工業大学博士(工学)。2002年専修大学商学部講師、2004年同助教授、2007年京都産業大学経営学部准教授を経て、2011年より同教授に就

任。2018年10月から2021年3月まで教育支援研究開発センター長、2021年4月から2023年3月まで経営学部長、2023年4月から2024年9月まで副学長、共通教育推進機構長を歴任。法人の評議員・理事も務める。専門は環境経済、環境経営、社会シミュレーション。研究テーマは持続可能な社会に向けた制度デザインと環境経営の普及メカニズムの解明。持続可能な社会の実現に貢献できる人材の育成と、学びが多く成長できてワクワクする「幸福感あふれる場」の共創を目指し、新たな施策にチャレンジする。

2024年12月10日に開催されたフォーラムの様をYouTubeで公開中!



私大連フォーラム2024

これからの時代に向けた  
私立大学の未来型防災教育を考える

ご視聴は  
こちらから



主なプログラム

● 特別対談

東日本大震災への想い

ー東北学院大学「被災学」の取り組みとともに  
いとう せいこう氏 (作家・クリエイター)

● 講演

熊本地震における阿蘇キャンパスの震災対応  
～震災遺構として後世につなぐ～  
木之内 均氏 (東海大学 熊本キャンパス長)

● 事例発表

・「関大防災Day ～広がれ!みんなの安全・安心!～」の取り組み  
中村 匡志氏 (関西大学 総務局次長)

・防災・減災・ボランティアを中心とした社会貢献教育の展開  
～TKK3大学連携プロジェクト～  
村上 正浩氏  
(工学院大学建築学部教授)

● パネルディスカッション 「災害時における私立大学の使命」

**星野 三喜夫** (ほしの みきお)

東洋英和女学院大学学長。'78早稲田大学卒業、'10日本大学大学院博士前期課程修了。APCECビジネス諮問委員会スタッフ、新潟産業大学教授・学長等を経て、'22より現職。

**田中 愛治** (たなか あいじ)

早稲田大学総長。'85米国オハイオ州立大学博士課程修了。政治学博士(D.P.H.)。早稲田大学教授、理事、世界政治学会(IPSA)会長等を経て、'18より現職。

**日比野 英子** (ひびの えいこ)

京都橘大学学長・総合心理学部教授、臨床心理士。同志社大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程(後期課程)単位取得後退学。共編著『身体はだれのものか』など。

**河田 恵昭** (かわた よしあき)

関西大学社会安全学部特別任命教授。'74京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得退学。京都大学を経て、'10関西大学初代社会安全学部長、'16より現職。

**関 嘉寛** (せき よしひろ)

関西学院大学社会学部教授。'99大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得

退学。博士(人間科学)。'11より現職。近著『集落(復興)』(新刊共著)など。

**伊藤 亜都子** (いとう あつこ)

神戸学院大学現代社会学部教授。神戸大学大学院文化科学研究科博士課程修了。博士(学術)。高崎経済大学を経て、'14より現職。近著『シン防災』(共著)など。

**大久保 英哲** (おおくぼ ひであき)

金沢星稜大学学長。筑波大学大学院修了(体育・スポーツ史)。博士(学術)。金沢大学を経て、'22より現職。主著『明治期比較地方体育史研究』など。

**音 好宏** (おと よしひろ)

上智大学文学部教授。'90上智大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。専門はメディア論。主著『放送メディアの現代的展開』ほか。

**辻村 真貴** (つじむら まき)

筑波大学生命環境系教授。学際サイエンス・デザイン専門学群(マレーシア校)学群長。'93筑波大学大学院博士課程地球科学研究科単位取得退学。博士(理学)。'24より現職。

**穂山 洋子** (あきやま ようこ)

同志社大学グローバル地域文化化学部教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。専門はスイス近現代史。'24年より、EUKキャンパス支援室長。

**柏木 厚子** (かしわぎ あつこ)

昭和女子大学国際学部国際学科特任教授・学長補佐。コロンビア大学ティーチャーズカレッジ修士課程修了。修士。主著『オーレックス和英辞典』[Lissen for It]など。

**浅野 昭人** (あさの あきと)

立命館アジア太平洋大学副学長、学校法人立命館常務理事。'09立命館大学大学院政策科学研究科博士課程前期課程修了、修士(政策科学)。立命館大学を経て、'22より現職。

**向井 滋** (むかい しげる)

早稲田大学人事部人材開発担当課長。民間の教育事業会社を経て、'0810月早稲田大学に入職。研究推進部、国際教養学部事務所勤務の後、'216月より現職。

**丸木 公介** (まるき こうすけ)

学校法人松山東雲学園理事長。日本大学商学部経営学科卒業。学校法人新田学園理事

長を経て、'23より現職。

**室崎 益輝**（むろさきよしてる）

神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授。京都大学大学院工学研究科修了。著書に「地域計画と防火」「建築防災・安全」など。

**山 泰幸**（やまよしゆき）

関西学院大学人間福祉学部長、災害復興制度研究所長。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（社会学）。

**浦野 正樹**（うらのまさき）

早稲田大学名誉教授。'81早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。日本都市学会会長、社会学系コンソーシアム理事。長他歴任。

**澤田 雅浩**（さわだまさひろ）

兵庫県立大学大学院准教授。'00慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。長岡造形大学准教授を経て、'17から現職。

**長沼 祥太郎**（ながぬましょうたろう）

九州大学未来人材育成機構准教授。TA制度・PFFP、K-SPRING、QFC-SPの運

営に携わる。専門は学習科学、大学教育学。

**柿本 晶子**（かきもとあきこ）

九州大学学務部学務企画課職員。

**野瀬 健**（のせたける）

九州大学副理事・基幹教育院院長・次世代型大学教育開発拠点長・アドミッシヨンセンター長。未来人材育成機構兼務。入試から博士教育まで一貫した教育改革に取り組む。

**田中 秀穂**（たなかひでほ）

芝浦工業大学名誉教授・特任教授。'83東京都立大学大学院修士課程修了、'93博士（学術）（大阪大学）。三菱化学（株）、京都大学助教、芝浦工業大学教授を経て現職。

**佐藤 孝司**（さとうたかし）

文教大学情報学部情報社会学科講師。'17鳥取大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士（工学）。日本電気（株）、京都情報大学院大学教授を経て、'23より現職。

**今井 浩**（いまいひろし）

明治学院大学情報数理学部長・教授。'86東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程博士課程修了、工学博士。九州大学、東京

大学を経て、'24より現職。専門は量子計算。

**水野 雅男**（みずのまさお）

法政大学現代福祉学部教授。'85東京工業大学大学院理工学研究科社会工学専攻修了。金沢大学教授等を経て、'11より現職。博士（学術）。

**石割 淳**（いしわりじゅん）

関西学院大学神戸三田キャンパス事務室次長。

**山田 泰子**（やまだやすこ）

日本郵便株式会社本社郵便・物流事業統括部。奈良県出身。京都精華大学芸術学部卒業。中学校の美術教師を経て、郵便局に入社。'14より切手デザイナーとして活動。

**川島 葵**（かわしまあおい）

上智大学文学部卒業。東海ラジオアナウンサーを経てフリーに。藤井聡太王位就位式や吉沢亮トークショー司会などで活躍。「BS Podcast」Voicyで番組も持つ。

〈お断り〉本稿は、お書きいただいた資料から、できる限り統一して掲載いたしました。

会長の動き

- 11月12日(火) 第8回常務理事会に出席
- 11月13日(水) 私大連理事・監事補欠選考委員会に出席
- 11月15日(金) 日本経済団体連合会「博士人材に関する産学協議会」に出席
- 11月20日(水) 主要国会議員表敬訪問
- 11月26日(火) 第8回理事会、第2回総会に出席
- 11月28日(木) 加藤勝信財務大臣に私大連の役員及び私学振興協議会の議員らと陳情。私立大学に対する新たな財源の確保と私学助成拡充を要望。
- 12月10日(火) 主要国会議員に私立大学に対する新たな財源の確保と私学助成拡充を要望 第9回常務理事会に出席



加盟大学学長インタビュー動画

「学長ときどき私」を公開

この動画は、私大連会員大学の学長にフォーカスし、学長としてのお仕事、研究者としての活動、プライベートの過ごし方などをお伺いし、学長の魅力を伝えることを通じて、私立大学での多様な学びや学ぶことの楽しさなど、私立大学の魅力を視聴者にお届けしています。

新たに中京大学 梅村清英学長へのインタビューを公開、今後も随時公開予定です。

<https://www.shidaiaren.or.jp/interview/>



開催報告

- 11月12日(火) 第2回改正私立学校法対応に関する情報交換会(内部統制システム・新体制準備等)
- 11月27日(水)～28日(木) 第2回財務・人事担当理事者会議
- 12月10日(火) 私大連フォーラム2024 「これからの時代に向けた私立大学の未来型防災教育を考える」大学連携、地域連携に基づく安全社会の実現を目指して

私大連TOPICS

令和6年秋の叙勲・褒章

(私大連事業関係者)

◆ 旭日重光章

小川 秀興

(順天堂大学理事長)

◆ 旭日中綬章

森本 三義

(松山大学元理事長・元学長)

◆ 瑞宝中綬章

清水 潔

(皇學館大学元学長)

中川 勝雄

(立命館大学名誉教授)

茂里 一紘

(東京女子大学元学長)

詳細は、私大連Webサイトをご覧ください。



<https://www.shidaiaren.or.jp/>



座談会 「『万博』で示す、大学のプレゼンス」

特集 「地域の中核的拠点として大学に期待される役割—地域連携・社会連携の観点から—」

小特集 「大学体育が描く未来図」

だいがくのたから 西南学院大学

大学点描 名古屋学院大学

クローズアップ・インタビュー

影山 範子さん(公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー)

## 編集後記

◆教育未来創造会議の提言や文部科学省の事業などにおいては、現段階以上に未来を創造する国際教育環境の整備や、日本型教育の海外展開と大学の国際化を進めていくことが重要であるとされている。

本特集においては、日本型教育の海外展開の状況と海外からのニーズ、多文化共生キャンパス（キャンパスの国際化）や、アメリカ、ドイツ、マレーシアなどのキャンパス（海外拠点）の設置に至る経緯や運営における課題について、また、大学職員向けの語学習得プログラムの充実や海外大学への研修等を導入し、国際的素養を持った大学職員の養成に取り組んでいる大学等へ執筆をお願いした。

各事例より、日本型教育の海外展開と大学の国際化においては、多様な文化や価値観を持つ他者と協働することが必要であると再認識できた。さらなる国際化推進を検討する大学にとつての参考としつつ、高等教育における国際化を展望する機会としていただきたい。（広報・情報委員会 大学時報分科会委員・津田塾大学経営企画課課長五十嵐俊也）

◆阪神・淡路大震災から30年、その

教訓を今に生かすために、大学が果たすべき役割は多岐にわたる。本小特集では、災害復興、防災対策、社会貢献、高齢者支援、経験知の共有について多くの視点から執筆をいただいた。超高齢社会における災害対応や、コミュニティ全体の協力体制の構築が重要であり、学生と教職員が一体となったボランティア活動や学際的な研究の推進は、地域社会における大学の大きな役割である。大学は地域住民と協力し災害時の避難所運営や支援活動において主導的な役割を果たし、防災教育や減災に関する研究を通じて地域の防災力向上にも貢献している。高齢者支援においても、災害関連死の防止や孤立対策に取り組み、地域全体での「共助」の仕組みが整備されてきた。これらの取り組みは、災害体験から得た教訓を次世代に伝えるための重要なステップといえる。本企画が、災害に対する意識を高め、大学の社会的責任を再認識する契機となれば幸いである。（広報・情報委員会 大学時報分科会委員・関西学院広報部企画広

報課課長 中谷良規

◆2024年元日に能登半島地震が発生し、その後の水害もあって、奥能登は未だに復旧途上にある。この1月は、能登半島地震から1年が経つとともに、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災から30年目の節目を迎える。この30年を振り返ると、大学と自然災害との関わりも大きく変化したように思う。そこでこの節目に、自然災害と大学をテーマに、特別企画を組んだ。周知の通り、大学は研究の場であるとともに、教育の場でもある。自然災害と向きあう中で、日本の大学は、自然災害に対する総合的な研究の場として、その活動を続けるとともに、被災地の復旧・復興に向けたボランティアの重要な供給源ともなっている。もちろんボランティアに参加した学生たちは、その活動を通して、社会を見つめ、多くの学びを得ていることは言うまでもない。大学は社会に何ができるのか。自然災害を事例に考えていただければ幸いである。（広報・情報委員会 大学時報分科会分科会長・上智大学文学部教授音好宏）

# 一般社団法人 日本私立大学連盟 加盟大学一覧

※ 大学名ABC順 / ※ } は同一学校法人 (120大学 令和7年1月20日現在)

愛知大学  
亜細亜大学  
青山学院大学  
跡見学園女子大学  
梅花女子大学  
文教大学  
筑紫女学院大学  
中京大学  
中央大学  
大東文化大学  
獨協大学 }  
獨協医科大学 }  
姫路獨協大学 }  
同志社大学 }  
同志社女子大学 }  
フェリス女学院大学  
福岡大学  
福岡女学院大学 }  
福岡女学院看護大学 }  
学習院大学 }  
学習院女子大学 }  
白鷗大学  
阪南大学  
広島女学院大学  
広島修道大学  
法政大学  
実践女子大学  
上智大学  
城西大学 }  
城西国際大学 }  
順天堂大学  
金沢星稜大学

関西大学  
関西学院大学  
関東学園大学  
関東学院大学  
慶應義塾大学  
敬和学園大学  
神戸女学院大学  
皇學館大学  
國學院大學  
国際武道大学  
国際基督教大学  
駒澤大学  
甲南大学  
久留米大学  
共立女子大学  
京都産業大学  
京都精華大学  
京都橘大学  
九州産業大学  
松山大学  
松山東雲女子大学  
明治大学  
明治学院大学  
宮城学院女子大学  
桃山学院大学 }  
桃山学院教育大学 }  
武蔵大学  
武蔵野大学  
武蔵野美術大学  
名古屋学院大学  
南山大学  
日本大学

日本女子大学  
ノートルダム清心女子大学  
大阪学院大学  
大阪医科薬科大学  
大阪女学院大学  
大谷大学  
追手門学院大学  
立教大学  
立正大学  
立命館大学 }  
立命館アジア太平洋大学 }  
龍谷大学  
流通科学大学  
流通経済大学  
西武文理大学  
聖学院大学  
成城大学  
聖カタリナ大学  
成蹊大学  
西南学院大学  
聖路加国際大学  
清泉女子大学  
聖心女子大学  
専修大学 }  
石巻専修大学 }  
芝浦工業大学  
白百合女子大学 }  
仙台白百合女子大学 }  
昭和女子大学  
創価大学  
園田学園女子大学  
大正大学

拓殖大学  
天理大学  
東邦大学  
東北学院大学  
東北公益文科大学  
東海大学  
常磐大学  
東京女子大学  
東京女子医科大学  
東京経済大学  
東京国際大学  
東京農業大学 }  
東京情報大学 }  
東京歯科大学  
東洋大学  
東洋英和女学院大学  
東洋学園大学  
豊田工業大学  
津田塾大学  
和光大学  
早稲田大学  
山梨英和大学  
四日市大学 }  
四日市看護医療大学 }

## 大学時報

University Current Review

2025/1月号

第74巻420号(通巻433号)

令和7年1月20日発行

編集人 音好宏(上智大学文学部教授)

発行人 森康俊(関西学院大学学長)

発行所 一般社団法人 日本私立大学連盟

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

私学会館別館

電話 03-3262-8672 FAX 03-3262-4363

<https://www.shidaiaren.or.jp>

編集 株式会社 WAVE

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-20

明治安田生命大阪梅田ビル3階

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-1

住友不動産虎ノ門タワー20階

松田美佐(中央大学文学部教授)

須藤智徳(法政大学多摩事務課課長)

中山映(上智大学学事局学事センター事務長)

玉村まゆか(関西大学総合企画室広報課課長)

中谷良規(関西学院広報部企画広報課課長)

河越英代(慶應義塾広報室長)

野見山智道(明治大学経営企画部広報課長)

大野百合子(立教学院総長室渉外課課長補佐)

立岩健一(立命館大学総合企画部広報課課長)

山田健太(専修大学文学部教授)

高橋慈海(大正大学ブランディングセンター長、広報部部長)

大谷奈緒子(東洋大学社会学部教授)

五十嵐俊也(津田塾大学経営企画課課長)

小泉邦人(早稲田大学エクステンションセンター事務局長兼社会人教育事業室課長)

齋藤淳(日本私立大学連盟事務局)

加賀崎奈美(日本私立大学連盟事務局)

吉田匡孝(日本私立大学連盟事務局)

